



一般社団法人

タウンスペース WAKWAK

2016年度 事業報告

一般社団法人 タウンスペース WAKWAK

2016年度 事業報告

すべての人に居場所と出番がある社会、すべての人がSOSを発信でき、互いに支え・支えられる社会、新しい公共としての住民主体による「自立」「参加」「協働」による地域の再生と互いに絆を結び合えるつながりの地域社会をめざして以下のとおり事業を行いました。

I. 法人運営事業

1) 会員拡大

各種事業の場や広報活動を通じ、本法人の目的に賛同しともに活動を進めようとする正会員および賛助会員については、ほぼ昨年同様の会員数を確保できました。引き続き、継続更新を働きかけていきます。

	会員数	口数	前年度会員数	口数
正会員(団体)	1	5	1	5
〃(個人)	12	15	12	15
賛助会員(団体)	5	5	0	0
〃(個人)	76	190	78	239
合計	6団体・88名	215口	1団体・90名	259口

2) 理事会、社員総会および企画運営スタッフ会議の開催

①理事会の開催

日時	場所	議案
第1回理事会 5月26日(金)	富田ふれあい 文化センター 小会議室2	第1号議案 2015年度事業報告承認について 第2号議案 2015年度決算報告について 第3号議案 監事監査報告 第4号議案 理事の改選について
第2回理事会 10月6日(木)		第1号議案 9月補正予算について 第2号議案 最賃改定に伴うパートスタッフ時給改訂ならびに労働条件通知書変更について 第3号議案 備品購入について
第3回理事会 12月6日(火)		第1号議案 職員雇用について 第2号議案 法人の今後のビジョンならびに財政基盤確立について
第4回理事会 3月14日(火)		<報告案件> 第1号議案 2017年度事業計画案について 第2号議案 2017年度予算案について <議決案件> 第1号議案 オンライン寄付サービスの導入について 第2号議案 旅費規程の改定について 第3号議案 決算理事会・社員総会の日程について

②社員総会の開催

日時	場所	議案
第1回 社員総会 5月26日（金）	富田ふれあい 文化センター	第1号議案 2015年度事業報告承認について 第2号議案 2015年度決算報告について 第3号議案 監事監査報告 第4号議案 理事の改選について
第2回 社員総会 3月14日（火）	小会議室2	第1号議案 2017年度事業計画案について 第2号議案 2017年度予算案について

③企画運営スタッフ会議の開催

2016年度は13名のメンバーでスタッフ会議を計4回開催しました。

- ① 5月26日 ②10月6日 ③12月6日 ④3月14日

3) 経営・財務管理

・持続的な活動を担保していくための経営計画と適切な財務管理を行うと共に、各種助成金の積極的活用を行いました。

・視察や講師派遣のメニュー作成を行い、富田地区の視察の受け入れや講師派遣を積極的に行って事業収入の増加を図りました。

・オンライン寄付サービスの導入など幅広く寄付を集める仕組みの検討と導入を行いました。引き続き、財政基盤の強化のため事業収入の増加を目指します。

4) マイナンバー法施行にともなう個人情報管理

2016年1月から実施されるマイナンバー制度に伴い、法人が取り扱う特定個人情報の範囲、安全管理措置について法人基本方針ならびに取扱い規定を定め、特定個人情報の取得・利用・保管等について厳正な事務に努めました。

5) WAKWAK事務所へ寄付金箱の設置

事務所への来客や富田地区フィールドワークの受け入れ時や講演の際の呼びかけにより2016年度は42,713円の寄付金箱へのご寄付をいただきました。

II. 協働交流・調査研究開発事業

1) 情報発信活動

①情報誌「WAKWAK通信」の発行

情報誌「WAKWAK通信」を計3回（第12号・第13号・14号）発行しました。

	内容	発行部数
12号	<ul style="list-style-type: none">・すべての人に居場所と出番のある社会をめざして 予算社員総会を開催しました。・どうする子どもの貧困シンポジウム開催報告・主催イベント おはなカフェ開催案内・2016年度事業報告	500部
13号	<ul style="list-style-type: none">・決算社員総会と理事会を開催しました。・コミュニティソーシャルワーク事業も強化・芸術と福祉のWAKWAKするコラボレーション ボーダレスアート事業・事業報告	

14号	<p>・「ただいま～と言える子どもたちの居場所をつくる」富田版「子ども食堂」「子どもたちの夕刻を支える場」を新たにスタートさせます！</p> <p>・「地域・家庭・学校・行政と協力しながら“ただいま～”と言える子どもたちの居場所をつくる」</p> <p>・事業報告</p>	500部
-----	--	------

②インターネットを活用した発信

「タウンスペースWAKWAK」HP (URL : <http://wak2.jimdo.com>) や「タウンスペースWAKWAK」Facebook ページの更新にも努め、日々の活動を常に発信するなど広く情報発信に努めました。

③メディアへの協力

・NHK全国放送局等から「ただいま～と言える子どもの居場所づくり」について取材依頼があり、地域サイド（高槻富田地区）の受け入れ法人（窓口）として情報発信への協力を行いました。

●地域魅力化ドキュメントふるさとグングン！「ひとりぼっちのいない町」

NHK 総合 1 チャンネル 4 月 30 日（日）午前 10 時 05 分～48 分放送

2) ネットワーク構築、他団体との協働

WAKWAKが実施する各事業において、地域社会とのネットワーク構築、市民活動団体相互および市民・事業者・行政との連携、協働促進事業について以下のとおり実施しました。

①市民と行政との協働応援事業

日時：6月6日（月）午後6時～8時

内容:子どもの貧困対策事業が2016年度市民と行政との協働応援事業として採択され授与式が行われました。

以後、数回にわたり打ち合わせを行いながら子どもの貧困対策事業を高槻市との協働応援事業として
NPO法人あっとすくーる、NPO法人地域ひといきとともに実施しました。

②さにすぼ夏祭り

日時:7月23日(土) 午前10時~午後3時

場所:知的障がい者福祉事業所サニースポット

内容:ボードレスアート教室工作キットおよびはにたん缶バッジ販売

③富田富寿栄盆踊り大会

日時:9月3日(土) 午後5時~9時

場所:富田富寿栄公園

実行委員団体として参加、例年を上回るたくさんの参加者で成功しました。

④NPO協働フェスタ

日時:10月8日(土) 午前10時半~午後4時

場所:生涯学習センター1F展示ホール

内容:展示の部で参加

⑤フェスタ・ヒューマンライツ

日時:12月4日(日) 午前9時半~午後3時

場所:富田ふれあい文化センター他

内容：わんだーぼっくす受講生作品展示を行いました。

ボーダレスアート展の同時開催(12月4日～5日)。

⑥その他

ア. 富田まち・くらしづくりネットワークおよび富田地域包括支援センター/コミュニテイケア会議、富田富寿栄住宅建替研究会、富寿栄連合自治会諸活動への参加を通して、地域福祉やまちづくり運動への参加を図りました。

イ. 市民公益活動サポートセンターの諸活動への参加を通して、市内NPO団体等との連携を図りました。

4) 調査・研究、各種助成金事業

先行している先進事例に学ぶとともに各種研究会等に参加しました。

① 「ただいま～と言える子どもの居場所づくり」のための先進地視察

ア. 日時：3月1日（水）午後1時～午後10時

視察先：滋賀県大津市社会福祉協議会・大津ソーシャルワークセンター

内容 社会福祉協議会における子どもの居場所づくりの取り組み

大津ソーシャルワークセンタートワイライトステイ事業の見学

イ. 日時：3月8日（水）午後1時～午後10時

視察先 滋賀県大津市中間就労支援（アmend）

滋賀県米原市子ども食堂リエゾン

内容 中間就労支援の実践見学

米原市におけるスクールソーシャルワーカーによる子ども食堂事業見学

② 各種助成金事業

各種助成金については下記団体から助成を受けました。

・公益財団法人大阪コミュニティ財団	400,000円
・子どもゆめ基金（2事業分）	527,000円
・協働プラザ助成金	100,000円
・解放同盟エコー共済助成金	100,000円
	計 1,127,000円

Ⅲ.新たな福祉と人権・協働のまちづくり事業

1) 地域福祉グランドデザインづくり事業

①富田富寿栄住宅建て替えに向けた取り組み

市の全面建て替え方針を受けて、富田まち・くらしづくりネットワーク等と連携しながら地域まちづくりに引き続き取り組みを行うとともに「建替研究会」に委員として参画しました。

ア.「建替研究会」

構成：富田自治会連合・昭和台自治会連合・富田まちくらしづくりネット・老人会・入居者委員会代表等

13名

日時：8月27日（木）、9月15日（火）、10月28日（水）、11月26日（木）、12月16日（水）の計5回開催。

イ.「入居者委員会」

構成：富寿栄住宅入居者 17名で構成

日時：10月27日(火)、11月17日（火）・12月12日(土) 計3回開催。

2) 生きがいと居場所づくり事業

①ボーダレスアート事業

ア. ボーダレスアート教室「わんだーぼっくす」の開催

日時および受講者数：前期開講：5月～10月（8月は休み）の月2回 18名受講

後期開講：11月～3月の月2回 19名受講

場所：青少年交流センター2Fレッスンルーム

後援：高槻市・市教育委員会、高槻市社会福祉協議会、社福つながり・つながり後援会

※国際障害者交流センターが実施する「ビッグ アイ・アートプロジェクト2016」公募展にわんだーぼっくす受講生4名6作品を出展、うち1名1作品が佳作入選しました。

イ. ボーダレスアート展「わんだーぼっくす」の開催

日時：12月4日（日）～5日（月） 午前10時～午後5時(最終日4時まで)

場所：富田ふれあい文化センター

入場者数：164名

内容：受講生とピックアップアーティスト展・キッズゲルニカ展示

ウ. オリジナルカレンダー「はてしない創造力ーこころの景色2017」の制作

初めての取組として子どもゆめ基金を活用し、わんだーぼっくす受講生の作品をカレンダーとして200部制作し頒布しました。

②コミュニティスペース事業

地域で子育て・高齢者・障がい児者支援や多文化共生に関わってきた女性が中心となり、身近な課題をゲストを招いて気軽に話し合える場としての「WAKWAKおはなカフェ」を開催しました。

ア. 子どもたちの安心・安全のために（その1）

日時：6月26日（日） 午後1時半～3時半

場所：富田青少年交流センター

講師：木下由美子(CAP みしま・大阪)さん

内容：子どものSOSを感じたら(大人ワークショップ)

いじめ・暴力にあいそうになったら！(子どもワークショップ)

参加者数：大人20名・子ども11名

イ. 子どもたちの安心・安全のために（その2）

日時：7月15日(金) 午前10時～12時

場所：富田青少年交流センター

講師：中村昭代(手をつなぐ育成会相談支援専門員)さん

内容：つつい生活がくずれちゃう 子どもが性被害にあわないためには？

参加者数：27名

3) ひとりぐらし高齢者・障がい者・若者支援事業

①地域支え合い事業

地域支えあい事業実行委員会の立ち上げ

昨年、ひとりぐらし高齢者および高齢者世帯への食事や買い物、家事支援、安否確認、心のケア等様々な地域における社会的支援の仕組みづくりを構築することを目的に、社福つながり、NPO 法人ニュースタート事

務局関西、NPO 法人日本スローワーク協会、地元関係団体も参画して一昨年 10 月に実行委員会を立ち上げ、12 月に富田富寿栄地域内高齢者を対象に「高齢者のお困りごと」訪問調査を実施いたしました。

実行委員会では、調査結果集約をふまえ関係団体とサービス提供についての会議等を開催し事業スタートに向けた取り組みを進めてきましたが、ボランティアサービス提供者の確保等の課題があり、事業スタートまでには至っていません。

②ライフサポート(市民後見)事業

ア. 市民後見人バンク登録の取り組み

府社会福祉協議会が呼びかけ高槻市を含む9市町が参加した市民後見人養成講座は2012年度にスタートし、バンク登録者の中から家裁に選任された市民後見人が後見活動を行ってきました。

③障がい者グループホーム整備事業

ア. グループホーム見学会の開催と開設の支援

いわゆる重度障がい者夜間支援型グループホーム整備については、富田地域内で建設用地を取得し、男性7名入居のグループホーム「コラム富田」が社福つながりにより2017年4月に竣工。5月より入居開始となりました。

4) 青少年・子育て支援事業

①こどもの歩みバックアップ「生活困窮家庭の子どもたちへの学習支援事業」

生活保護受給および生活困窮世帯や家庭困難層の中学生を対象に、学習支援を行うことで低学力の克服と地域における「貧困の連鎖」を防止する事を目的に2014年8月より学習支援事業をスタートさせました。

ア. 学習支援教室わんぴーすの通年開催

生活困窮以外に発達障がい等で課題を持つ生徒のニーズも高く、大学生の講師体制の増員を図る等により事業の円滑な実施に努めてきました。結果、参加の中学3年生は全員希望の進路に進むことができました。

期間：4月～3月の毎週2回 月・水の午後7時～9時

場所：富田ふれあい文化センター2F 学習室1・2・交流室1

対象：中学生(定員10名に対し14名が参加)

参加費：6,000円/月(教材費・保険代含む)

講師体制：教職員経験者5名および地域大学生12名(毎回5～6名体制)

後援：高槻市・高槻市教育委員会

助成金：公益財団法人大阪コミュニティ財団助成金

イ. 青少年相談事業並びに中学校等との連携

- ・青少年相談事業を通じた親支援も並行して実施(延べ20回)
- ・生徒1人1人の特性や課題等について当該中学校との連携会議を概ね2か月に1回のペースで開催

②「ただいま～と言える子どもたちの居場所をつくる」

富田版「子ども食堂」「子どもたちの夕刻を支える場」事業の新設

次年度の本格実施に向けて「立ち上げ講演会」を実施。講演会を皮切りにオープニングイベントとして富田版「子ども食堂」を開催しました。

また、この一連の取り組みへNHK全国放送局から取材をいただき、大学の広報等でもご紹介いただきました。

ア. 「ただいま～と言える子どもの居場所をつくる」立ち上げ講演会

(第1部) 富田版「子ども食堂」&「子どもたちの夕刻を支える場」立ち上げ講演会

日時：3月11日(土) 午後1時30分～午後4時

場所：富田ふれあい文化センター小ホール

内容：「子どもたちの夕刻を支える場」

講師：：桃山学院大学准教授 金澤ますみさん

参加者：156名

(第2部) 住民・関係機関等ワークショップ

日時：3月11日(土) 午後4時半～午後6時

場所：富田ふれあい文化センター2階研修室

内容：「子どもたちの居場所を考えるワークショップ」

講師：：幸重社会福祉士事務所代表 幸重忠孝さん

参加者：70名

イ. 富田版子ども食堂オープニングイベント「春休み富田わくわく食堂」

日時：3月29日(水) 10時～15時

場所：富田ふれあい文化センター地下小ホールおよび3階料理教室・和室

内容：○オープニング(小ホール)

・善太鼓 中川善太&春枝

・みんなで歌おう！♪ひとりとちがうでこの街は ほか

ピアノ伴奏 奥村美紀子/ギター演奏 吉田仁志

手話 トライアングル/歌 朝日悦子+子どもたち

○よちよちコーナー<大ホール後ろ> 元富田保育所の先生方

○ダンボールで遊ぼう<小ホール> 第四中学校7年生有志

○パクパクコーナー<大ホール舞台> 富赤人権推

○昼食<3階和室> カレーライス200食 ひまわり ※おとな300円 こども100円

○鶴ちゃんの紙芝居<大ホール舞台>

参加者：のべ670名 ボランティア：総勢60名

企画・運営：おはなカフェ

① 社会的養護で暮らす子どもたちのエンパワメント事業

ア. 児童養護施設の子どもたちを対象としたプログラムの実施

虐待や一人親、障がいなどの社会的、経済的事由により児童養護施設に通う児童（社会的養護で暮らす子どもたち）を対象に自然体験活動を行う中で、生きる力や対人関係形成力、自己肯定感を継続的に育む事業を実施しました。

日時：①2月11日（土）11時～14時

②2月26日（日）10時～17時

内容：①子どもたちとの顔合わせとアイスブレイキング

②子どもたち対象の自然体験活動

対象：高槻市内の児童養護施設の子どもたち（小学生・中学生）のべ27名

場所：摂津峡青少年キャンプ場

イ. 児童養護施設プログラムのためのボランティア・スタッフ研修の実施

将来、学校の教職員や児童養護施設など教育関係や福祉、対人援助職を目指す学生を対象に、研修や実践を通して虐待や発達障がいに対するより深い理解と様々な背景を持つ子どもたちと関わる実践力を育むことを目的に開催しました。

テーマ：子どもたちの行動の背景にあるものに寄り添うために

対象：将来、教職員や福祉職などの教育関係、対人援助職を目指す学生 19名

場所：富田ふれあい文化センター及び摂津峡青少年キャンプ場

i. スタッフ研修

1. 日時：11月13日(日) 午前10時～午後4時

内容：・児童養護施設の子どもの背景にあるもの <社会的養護と虐待への理解>

・チームビルディング <人間関係トレーニング>

・プログラムの共有とスタッフの役割

2. 日時：11月23日(祝) 午前10時～午後4時

内容：・対人援助をする援助者が子ども達に与える影響 <知識・スキル・人間性>

・子どもたちの気持ちを受け止める <カウンセリングマインド研修>

3. 日時：11月25日(金) 午後6時30分～午後8時30分

内容：・児童養護施設の職員さんからのオリエンテーション <施設の様子と子どもたちの特性>

・プログラム当日に向けて打ち合わせ

4. 日時：11月27日(日) 午前10時～午後5時

内容：・ロープワークなどのアウトドアスキルの研修

・当日の子どもたちのプログラムのためのアスレチックなどの設営練習

※プログラム当日の予定であったが、雨天だったため急きょスタッフ研修に変更

5. 日時：2月12日(日) 午前10時～午後4時

内容：・自己肯定感を高める援助者としての関わり方 <エンパワメントについて>

・プログラム当日に向けて打ち合わせとスタッフそれぞれのミッションの共有

6. 日時：2月26日(日) 午後4時～午後7時

内容：・実践の振り返り <対人援助者の私の強みと課題>

・まとめ これからの私は・・・ <私の教育観・対人援助観>

5) CSW (コミュニティソーシャルワーク) 事業

①コミュニティソーシャルワーク事業

中学校区でのフォーマル（公的機関）・インフォーマル（民間その他）の連携による支援ネットワークという長年培ってきたまちの財産を活かし、また発展しながら子どもから高齢者の困りごと相談への対応や解決、関係機関へのコーディネートを行いました。

ア. 相談件数 ※アウトリーチ含む

		合計	割合
相談内容	福祉関連	25 件	26.3%
	住環境・コミュニティ	13 件	13.7%
	人権	14 件	14.7%
	教育関連	24 件	25.3%
	就労関連	10 件	10.5%
	そのほか	9 件	9.5%
小計		95 件	100.0%
処理方法	ワクワク職員が対応	70 件	73.7%
	ふれあい文化センターにつなぐ	5 件	5.3%
	行政関連の所管へつなぐ	16 件	16.8%
	そのほか	4 件	4.2%
小計		95 件	100.0%

イ. 青少年の支援のための学校教育との連携

学習支援わんぴーす受講生等の日々のケース対応に当たっては、当該の小、中学校と密に連携を図り、支援を行った。また、深刻なケースに当たっては、市のSSWやカンガルーの森などの関係機関等とも当法人の社会福祉士が連携しケースカンファレンスを行った。

ウ. 高齢者等住民支援のための関係機関との連携

高齢者の支援に当たっては富田ふれあい文化センターの介護相談員や地域の民生委員と連携し課題解決を行った。また、よりネットワークを広げるため富田ふれあい文化センターが開催したケアケース会議への参画

や富田地域包括支援センターが開催する地域ケア会議へ出席した。

6) 人材育成事業

富田まちくらしづくりネットワークや地元自治会等への活動参加を行い地元住民のボランティア発掘を行うとともに、多種多様な講座の開催をはじめ地域内外からの若年層のマンパワーの発掘のため平安女学院大学や大阪人間科学大学等との連携を行う中で当法人のさまざまな事業のボランティア参画へとつながりました。

①☑連続講座「富田ものがたり」の開催

富田地域内施設において業務として従事する方（行政職員、学校、幼稚園、保育所等教職員、民間施設職員等）やボランティア活動を行う方々を対象に、富田地域の特性や施設、団体の設立の背景や歴史に対する知識を深める連続講座を開催しました。

日時・内容：

<春>

ア. 「富田地域概要～新たなものにチャレンジする先見の文化～」<4月26日（火）18時半～20時半>

- ・人と人が出会い、繋がる アイスブレイキング（チェックイン&デートゲーム）
- ・富田地域概要 講師：（一社）タウンスペースWAKWAK副代表理事 岡井寿美代

イ. 教育領域～つながりとぬくもりで子どもを育む～<5月10日（火）18時半～20時半>

- ・富田青少年交流センター概要 講師：富田青少年交流センター職員 東井 宏美さん
- ・富赤の設立、そして、つなぬくへ 講師：富田赤大路地域人権教育推進委員会

委員長 茨木照世さん 事務局長 吉田仁志さん

ウ. 福祉領域～おまかせ・おしきせからの卒業～<5月17日（火）18時半～20時半>

- ・社会福祉法人つながり 講師：(社福) つながり サニースポット施設長 今井 司さん
- ・地域福祉のグランドデザイン 講師：タウンスペースWAKWAK代表理事 岡本茂

<秋>Deep 富田ものがたり テーマ：語り継ぐ

エ. 保育分野<9月6日（火） 18時半～20時半>

- ・「ほーむ、異年齢保育はこうして生まれた」

講師：元富田保育所所長 甲斐田美智子さん

オ. 教育分野<9月13日（火） 18時半～20時半>

- ・「子どもたちの生活背景に寄り添うってどういうこと？」

講師：高槻市人権まちづくり協会人権啓発指導員 野田 忠司さん

場所：高槻市立富田ふれあい文化センター小ホール

対象：富田地域の学校、施設、その他に従事する人、興味のある方

参加者：256名

参加費：各回 500円／人<資料代>・学生 無料

③ 「人、自然、自分と対話し自らのあり方を見つめるセミナー」の開催

人間関係トレーニングの手法をつかった問題解決型のワークを通して、参加者一人一人が人と関わる際の自分のコミュニケーションのあり方（人を大切にする伝え方や受け止め方）や自分のあり方について気づきを得、体験的に学ぶ連続講座を開催しました。

時期：前期：「人と人」 ①5月28日（土）午前10時～午後4時

②6月11日（土）午前10時～12日（日）午後4時

後期：「人と自然」 ③10月8日（土）午前10時～9日（日）午後4時

対象：興味のある方ならどなたでも（高校生以上）

参加者：のべ35名

場所：富田ふれあい文化センター及び摂津峡青少年キャンプ場

④大阪人間科学大学 ボラふえすへの参画

大阪人間科学大学が大学生をボランティアへとつなぐ取り組みとして「ぼらふえす」を開催され、参画。法人の活動内容のプレゼンおよびボランティア募集を行い、エントリーがあった学生を当法人の児童養護施設のプログラムや子どもの居場所づくり事業につなぎました。

また、子どもの居場所づくり事業の取り組みでは、大学のHPに掲載いただくなど広く広報もされました。

IV. その他事業

1) 富田地区視察の受け入れおよび講師派遣事業

市内外や他府県の行政機関や福祉施設等へ職員が講師として積極的に出向き、包摂型のまちづくりの実践談や人権啓発の推進を図りました。また、これまで行ってきた富田地区視察の受け入れを積極的に行い、受け入れメニューの充実も図りホームページへの掲載を行いました。

ここで得た報償費（収益）を法人の安定的な基盤づくりに寄与するとともに法人の社会貢献事業へ循環しました。

①講師派遣

	内容	日時	場所	対象・参加者数
1	島根県東陽中学校主催 人権講演会 「ルーツを大切に自分らしく生きる」	1月27日(金) 13時40分～14時50分	東陽中学校 体育館	中学生・教員 136名
2	島根県東陽地区人権教育講演会 「高槻富田における包摂型のまちづくり実践」	1月27日(金) 18時30分～20時30分	安田地区振興 センター	地域住民・小中 学生保護者、教 職員 50名
3	市人権まちづくり協会主催 人権リーダー養成講座(3回講座) 「エンパワメント心の源の力の支援」 ①「知識・理論」エンパワメントとは? ②「技術」自己肯定感を高める関わり ③「人間性」対人援助者の在り方	①2月3日(金) ②2月10日(金) ③2月17日(金) いずれも18時30分～ 20時30分	富田ふれあい 文化センター	①20名 ②28名 ③20名
4	高槻市立第四中学校7年生 福祉授業 Happiness challenge ①福祉全般と社会福祉士について ②WAKWAKの事業について ③子どもの居場所づくり事業について ④中学生の発表会 ゲスト参加 ※ワクワクグループの有志が富田わくわ く食堂に参画	11月10日(木) 1月26日(木) 2月3日(金) 3月16日(木) 3月29日(水)	第四中学校 および 富田ふれあい 文化センター	第四中学校 1年生

5	京都府京田辺市三山木福祉会館 じんけん講演会 「高槻富田における包摂型のまちづくり 実践」	2月22日(水) 13時30分～15時	三山木福祉会館	地域住民40名
6	富赤・城南人権推合同学習会 「高槻富田における包摂型のまちづくり 実践」およびフィールドワーク	2月25日(土) 14時～17時	富田ふれあい文化センター	富赤人権推・城南人権推事務局 ほか

②富田地区の視察の受け入れ

	日時	場所	対象	参加者数
1	6月25日(土)	富田ふれあい文化センターおよび富田地域周辺各所	部落解放・人権大学110期生	28名
2	7月23日(土)		部落解放・人権大学107期生	16名
3	11月16日(水)		大阪府専門学校各種学校連合会	20名
4	11月19日(土)		鳥取県米子市女性部	10名
5	11月22日(火)		私立学校人権教育研究会	27名
6	2月16日(木)		部落解放・人権大学111期生	36名
7	2月18日(土)		三重県伊賀市青山同和教育推進協議会	20名

2) 事務受託事業

部落解放同盟高槻富田支部、富田富寿栄老人会、富田地区企業者組合、人権ネットワーク、社福つながり後援会・家族会ひだまりから事務受託契約を行い、計5団体の事務受託について適正に事業を執行致しました。

3) マイノリティと出会う旅 スタディツアーの準備

① アメリカ・サウスダコタ州アメリカ先住民居留区スタディツアーの準備

2017 年度に開催予定のアメリカ先住民居留区へのスタディツアーのに向け下見をはじめプログラムの準備を行いました。

時期：7月28日（木）～8月17日（水）

行先：①アメリカ・サウスダコタ州シャイアンリバー先住民居留区およびパインリッジ先住民居留区

② アメリカ・ワイオミング州イエローストーン国立公園・グランドテトン国立公園

人数：8名

その他：その他のツアー先についても検討するとともに旅行業取扱管理者の取得についても検討しました。

※2016年度の下見では、事業費の支出は行っておりません。